

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	2節13・14項	町内企業・商店の育成・強化
担当課・係名	産業観光課 商工観光係【問合せ・質問等の先(内線番号) 243 番】			

業務の名称	商工業振興事業																																							
(1)根拠法令・条例	商工業振興資金融資制度要綱・長久手町信用保証料補給金制度要綱・長久手町商工業振興事業補助金交付要綱 等																																							
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>25</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>107.8</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)																																							
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>73,108</u> 千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																							
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u> </u> % (平成18年度実績)																																							
(5)業務期間	開始した年度	昭和60年度	終了(予定)年度	年度																																				
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																								
業務目的(達成目標)	町内商工業者の経営の安定支援																																							
業務が対象とする住民(地域・層)	町内中小企業経営者および商工会																																							
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興資金の振興にかかる金融機関への預託 ・商工業振興資金の融資受付・調査 ・商工業振興資金の信用保証料に対する補給 ・商工会に対する補助金の交付 ・商工会館用地の借地料の支払い ・中小企業信用保険法による認定 																																							
業務の実施結果 (平成18年度実績)	商工会・町内金融機関との連携を密にし、前年度を上回る融資実績を挙げた。																																							
	【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>商工会補助金</td> <td>17,500 千円</td> <td>17,500 千円</td> <td>17,500 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>商工業振興資金の申込件数</td> <td>52</td> <td>88</td> <td>70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>商工業振興資金の決定金額</td> <td>275,90 0千円</td> <td>591,44 0千円</td> <td>420,00 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>信用保証料補給金の額</td> <td>3,205 千円</td> <td>4,857 千円</td> <td>6,000 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標	1	商工会補助金	17,500 千円	17,500 千円	17,500 千円		2	商工業振興資金の申込件数	52	88	70		3	商工業振興資金の決定金額	275,90 0千円	591,44 0千円	420,00 0千円		4	信用保証料補給金の額	3,205 千円	4,857 千円	6,000 千円		5				
結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標																																			
1	商工会補助金	17,500 千円	17,500 千円	17,500 千円																																				
2	商工業振興資金の申込件数	52	88	70																																				
3	商工業振興資金の決定金額	275,90 0千円	591,44 0千円	420,00 0千円																																				
4	信用保証料補給金の額	3,205 千円	4,857 千円	6,000 千円																																				
5																																								
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	町内中小企業の経営の安定・強化に大いに貢献した。																																							
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度 実績</th> <th>18年度 実績</th> <th>19年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>同上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標	1	同上					2						3						4						5				
成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標																																			
1	同上																																							
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

(8)改善実績（過去3年間の実績）
・商工業振興資金の取扱い金融機関の見直し、拡大

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.3点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	本事業は、現行の方法で町内商工業者の経営安定・強化に大いに寄与している。 次年度以降も、引き続き現行の方法で継続していく。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
基本的には現行の方法での中小企業支援を行っていく。 パンフレット・ポスターの掲示や広報への記事掲載などを通じて、商工業振興資金の融資制度の周知に力を入れていく。